

12

原子力施設の運転状況

12-01

原子力発電所

12-01-01

設備利用率

12-01-01-01

昭和54年度我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率

## <概要>

昭和54年度においては、[原子力発電所](#)の時間稼働率は59.8%、[設備利用率](#)は54.6%であった。

## <更新年月>

1998年05月           （本データは原則として更新対象外とします。）

## <本文>

原子力発電所の設備利用率は昭和52年度間平均で41.8% であった。昭和53年度は56.7%、昭和54年度は54.6% となっており（[表 1](#) 参照）、例年なみの設備利用率に回復している。これは、先行炉の経験が生かされ信頼性が向上したため、トラブルによる長期の運転停止というようなことがなくなったためである。

また時間稼働率については [表 2](#) および [表 3](#) に示すように平均で59.8% であった。

## <関連タイトル>

[日本の原子力発電所の時間稼働率の推移（2004年度まで）（02-05-02-01）](#)

[日本の原子力発電所の設備利用率の推移（2004年度まで）（02-05-02-02）](#)

[昭和54年度原子力発電所の事故・故障（12-01-02-01）](#)

## <参考文献>

（1）原子力委員会編（1981）：我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率（過去10年間）、昭和55年版原子力白書、338-339.

（2）（社）火力原子力発電技術協会（1981）：原子力発電所の運転状況、昭和54年度・昭和55年度（昭和54年度実績）原子力発電所運転管理年報、11-33.

（3）（社）火力原子力発電技術協会（1981）：プラント別設備利用率、プラント別時間稼働率、昭和54年度・昭和55年度原子力発電所運転管理年報、30-31.

（4）科学技術庁原子力安全局編（1981）：我が国の原子力発電所の設備利用率、我が国の原子力発電所の時間稼働率、原子力安全委員会月報.

表 1 設備利用率

(単位：%)

炉型	BWR	PWR	GCR	計
昭和54年度	64.2	42.6	63.5	54.6

表 2 時間稼働率

(単位：%)

炉型	BWR	PWR	GCR	計
昭和54年度	71.6	44.8	77.5	59.8

表 1 設備利用率

(単位：%)

炉型	BWR	PWR	GCR	計
昭和54年度	64.2	42.6	63.5	54.6

表 2 時間稼働率

(単位：%)

炉型	BWR	PWR	GCR	計
昭和54年度	71.6	44.8	77.5	59.8

# 表3 我が国の原子力発電所の時間稼働率及び設備利用率（昭和54年度）

設置者	発電所名（運開年月日）	認可出力（MW）	時間稼働率	設備利用率
日本原子力発電	東海（1966. 7.25）	166	77.5	63.5
	東海第二（1978.11.28）	1,100	66.3	61.5
	敦賀1号（1970. 3.14）	357	69.0	63.0
東京電力	福島第一原子力1号（1971. 3.26）	480	66.3	58.3
	福島第一原子力2号（1974. 7.18）	784	79.0	65.7
	福島第一原子力3号（1976. 3.27）	784	57.3	50.8
	福島第一原子力4号（1978.10.12）	784	68.7	59.5
	福島第一原子力5号（1978. 4.18）	784	81.0	70.9
	福島第一原子力6号（1979.10.24）	1,100	※ 100	98.0
中部電力	浜岡原子力1号（1976. 3.17）	540	63.3	54.0
	浜岡原子力2号（1978.11.29）	840	67.1	61.3
関西電力	美浜1号（1970.11.28）	340	8.9	3.5
	美浜2号（1972. 7.25）	500	16.1	14.2
	美浜3号（1976.12. 1）	826	50.8	48.8
	高浜1号（1974.11.14）	826	50.4	48.2
	高浜2号（1975.11.14）	826	30.8	28.4
	大飯1号（1979. 3.27）	1,175	36.3	34.1
	大飯2号（1979.12. 5）	1,175	※ 100	99.1
中国電力	島根原子力1号（1974. 3.29）	460	79.8	75.7
四国電力	伊方1号（1977. 9.30）	566	63.0	61.3
九州電力	玄海原子力1号（1975.10.15）	559	58.2	56.1
合 計		14,952	59.8	54.6
参考動燃	ふげん（1979. 3.20）	165	74.4	72.4

(注) 1.  $\text{ユニット毎の時間稼働率} = \frac{\text{発電時間数}}{\text{暦時間数}} \times 100(\%)$

2.  $\text{設備利用率} = \frac{\text{発電電力量}}{\text{認可出力} \times \text{暦時間数}} \times 100(\%)$

3. ※印の欄は当該発電所の運開初年度にあたり、運転開始以降の暦時間数に基づく時間稼働率及び設備利用率を計上してある。

（通商産業省資源エネルギー庁原子力発電課調べ）